

春季高校野球

県大会

第2日

会津北嶺 誇る春1勝



【学法福島—会津北嶺】1回裏会津北嶺無死一、二塁、3点本塁打を打ち喜ぶ富山—みちのく鹿島球場

学福エース雪辱誓う

会津北嶺 9—2 学法福島
初回到3点本塁打を放った会津北嶺の富山紘之進(3年)はガッツポーズしながらダイヤモンドを1周し、盛り上がるベンチの仲間を駆け寄った。この本塁打を含む3安打4打点の大暴れで春の県大会初勝利に貢献。「県の舞台で打ててうれしい」ととびきりの笑顔を見せた。

1点を先制し、なお無死一、二塁の好機の場面。外角高めに入った直球を迷いなく振り抜いた。「行くかも」。その直感通り、風に運ばれた白球は右翼スタンドへ吸い込まれた。
創部6年目のチームには県外出身者が多く、富山も大阪府出身。「それまでの環境とは違う場所で野球をやりたいかった」。学校から声がかかり、会津の地で白球を追う道を選んだ。「自転車走れないうほどの雪にはびっくりした」と、来たばかりの頃を思い出し苦笑する。

先発した学法福島のエース菊地雅哉(3年)制球が定まらず、自分の投球ができなかった。大会で出た課題を見直していきたい。

初回3ラン 打線に勢い

◇2回戦 ▽第2試合(13時8分)

学法福島	0	0	0	1	0	1	0	2
会津北嶺	4	0	2	0	0	1	2	9

(8回コールド)

▽本塁打 富山(会)
▽二塁打 菊地(学) 嘉数、原、長岡、木村、富山(会) ▽捕逸 福村(学) ▽暴投 小野寺(学)
▽試合時間 2時間12分
▽審判 藤原(球) 斎藤、吉永、田中

【評】会津北嶺が15安打と猛打で圧倒。初回、富山の本塁打など4連打で4点を挙げると、その後も5本の長打などで得点を重ね攻撃の手を緩めなかった。学法福島は好機で凡打が目立ち、相手投手を攻略できなかった。(副島湧人)

【学法福島】打安点

⑤	勝小宇福	1	0	0
④	佐美村	4	1	0
⑥	野宮	4	0	0
⑦	野白柳池大	0	0	0
⑧	H	1	0	0
③	R	1	0	0
1	野寺尾上	0	0	0
3	小増井	1	0	0
①	菊地	2	1	2

【会津北嶺】打安点

⑧	渡辺龍村	3	4	0	1	0
⑤	木村数山	4	2	5	3	4
③	嘉数	2	3	0	0	0
②	富武	3	0	2	1	1
⑦	H	7	2	3	3	4
⑨	原	4	2	2	1	1
④	内宮	2	2	1	0	0
⑥	H	1	0	0	0	0
1	渡辺新	0	0	0	0	0

34158